

# 命・暮らし優先の横浜に

来年度予算編成

## 市長に党市議団申し入れ



林市長（左端）に申し入れ書を手渡す大貫団長（手渡している人）ら党市議団11と日、横浜市庁舎

日本共産党横浜市議団（5人、大貫憲夫団長）は2日、林文子市長に、2014年度予算編成にあたっての申し入れを行い、370万市民の命、暮らしを

最優先とする市政運営を求めました。

申し入れでは、▽他都市より遅れた行政水準の実態を認識する▽住民に身近な行政区・区役所にする▽市経済を内発的に発展させる▽消費税の4月からの増税に反対する―など6項目にわたって提案しました。

各議員は、米海軍横須賀基地（横須賀市）に配備されている原子力空母の原子炉事故の危険性を市民に周知すること、消費税増税は保育園などにも重い負担増となるため救済措置をとることなどを要望しました。

林市長は、施策が市民に届いていないという実感があると述べ、自らが出向いて市民に説明する企画を計画し、各行政区長にも現場主義を徹底させるなど応じました。